




1人1台端末の活用による実践事例

学校名	津山・津山東・津山工業・津山商業高等学校		
実践者等	地域連携担当者	実践日	令和3年8月2日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	フィールドワーク後、提言書の検討場面 (四校連携講座 地域創生学・地域創生学)		
対象生徒(学年等)	各校の生徒2・3年生(希望者)		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	提言書作成に向けてのディスカッション		
使用したアプリ等	ドキュメント・スライド・Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	4・5名のグループにおいて、各々が端末を利用することで、生徒同士が接触することなく、話し合いを進める。		
実践の内容			
○ドキュメント、スライド、Jamboardを活用したディスカッション			
<p>●従来は、「まなボード」を利用したり、模造紙を利用したりすることで、各々の考えを表現し、意見の集約を行っていた。</p> <p>しかし、端末を利用し、ドキュメントやJamboard等で共有化することで、互いに密着することなく、各々の考えを表現し、意見の集約をすることができる。</p>			
<p>●写真のように机を離れた状態でも、間にアクリル板をおいても、端末とプロジェクタを利用することで、話し合い、意見の集約を進めることができた。</p>			
<p>●従来の方式に比べ、集約した模造紙等を再度、記録する必要もなくなり、時間短縮につながるだけでなく、デジタルデータで保存できることから振り返りにも活用できるようになる。</p>			
参考となるHP等			